

## 歴史の足跡

## 北海道医学教育史年表 (6)

札幌市医師会 小竹英夫

## 昭和7年(1932)

3. 1 満州国、建国宣言。中国領土内に、日本により樹立された国家。

中国からは偽満と称され、日本の敗戦と共に消滅した傀儡国家。

5. 15 海軍青年将校と陸軍士官学校生徒ら、首相官邸などを襲い、犬養毅首相(78歳)を射殺(5.15事件)。

## 昭和8年(1933)

2. 24 国際連盟、日本軍の満州撤退勧告を42対1にて可決。反対の1票は日本。

3. 27 日本、国際連盟脱退を通告。世界から孤立することとなる。

## 昭和9年(1934)

10. 1 陸軍省、「国防の本義とその強化の提唱」(いわゆる陸軍パンフレット)を発行、頒布。

「たたかいは創造の父、文化の母である」との刺激的な言葉で始まり、各方面に甚大な反響を呼んだ。

高度国防国家建設のためには、軍備の充実のみでなく、国内の政治・経済体制を大幅に改革するの要ありとしたもので、陸軍は積明に大わらわであった。

これは昭和10年(1935)3月には、日本の国際連盟脱退が効力を発生し、国際孤立の世界に突入し、同11年(1936)12月31日、ロンドン海軍軍縮条約が失効し、再び建艦競争の時代の到来(いわゆる35、6年の危機)を前にして、陸軍の決意の表明であった。

## 昭和11年(1936)

2. 26 歩兵第1、第3連隊などの皇道派青年将校、下士官・兵1,400名を率い、首相・陸相官邸、警視庁などを襲撃、蔵相高橋是清、内大臣斎藤実、教育総監渡辺錠太郎を殺害、侍従長鈴木貫太郎に重症を負わす。(首相岡田啓介は即死と報ぜられたが、生存)。永田町一帯を占拠して、国家改造を要求(2.26事件)。

2. 27 東京市に戒厳令布告。

7. 18 同上解除。

## 昭和12年(1937)

7. 7 蘆溝橋で日中両軍衝突(日中戦争の発端)。これより日中戦争。

12. 13 南京占領。首都の陥落で、所謂城下の盟を成さしめることができると、軍部も国民も信じたのであったが……。中国は広大であった。

## 昭和13年(1938)

1. 11 厚生省官制公布。

国民の保健衛生並に社会施設を主管。体力・衛生・予防・社会・労働の5局を置く。

4. 1 国家総動員法公布。

国民経済・生活を官僚統制下に置き、統制に関する権限を政府に委任する法案。

この年、医学教育視学委員会を中心に、文部、陸軍、厚生各省の協議により、専門学校令による医学専門学校を、帝国大学医学部、官立医大に附属設置する案が承認される。

この年、陸軍、千葉医大を接収して、軍医養成の軍陣医学教育を行わんとする風聞(但し大学側の

拒否(?)に遭い立消え)。

### 昭和14年(1939)

3. 23、3. 25、4. 12、4. 14 北大で臨時附属医学専門部設立準備会(第3回より創立委員会)開催さる。

4. 26 文部省で開催の帝大医学部長、官立医科大学長会議、臨時附属医学専門部の設立を認める。以後敗戦迄、官公私立医専続出。

5. 15 帝国大学、官立医大に臨時附属医学専門部の設置(勅令第315号)。

5. 31~6. 2 臨時医専入学試験。試験科目は数学、国語、外国語、化学。試験考査料は5円。

6. 21 臨時医専開校式。

8. 25 北海道医師会長・関場不二彦死去(享年74)。

9. 1 陸軍省兵務局兵備課、臨時附属医専の教育内容に関し要望を公にする。

### 昭和15年(1940)

9. 27 日独伊三国同盟ベルリンで調印。

10. 12 大政翼賛会発会式(各政党解党)。

11. 2 大日本帝国国民服令公布。

### 昭和16年(1941)

8. 30 樺太庁豊原医院附設医学講習所設立(樺庁令第74号)。定員10名。修業年限3年。

10. 16 大学、高等学校、大学予科、専門学校の修業年限を6カ月以内短縮の勅令。是により上記学校の修業年限は3カ月短縮され、12月卒業となる。17年度からは6カ月短縮。

12. 8 太平洋戦争勃発(米・英に対し宣戦)。

### 昭和17年(1942)

2. 25 国民医療法施行。

5. 20 大政翼賛会を改組。翼賛政治会結成。(各種国民運動を傘下に入れ、町内会・部落会などの指導強化)。

6. 5 ミッドウェー海戦(日本4空母を失い、戦局の転機となる)。

我軍アリュウシャン列島キスカ島に上陸、占領。

6. 8 同アツツ島に上陸。占領。

8. 7 ソロモン群島ガダルカナル島に米海兵隊上陸。以後、同島の奪還のため同島周辺で海戦及び陸戦を繰返し、12. 31撤退を決定。

### 昭和18年(1943)

1. 21 旧制高校、大学予科、修業年限1年短縮され、2年となる。

4. 18 連合艦隊司令長官・山本五十六、ソロモン群島上空にて戦死。

4. 27 樺太庁立医学講習所、庁立医学専門学校となり、2、3年在学者は医専の2、3年生となる。

5. 12 米軍アツツ島上陸。

5. 29 アツツ島の日本守備隊2,500名玉砕。孤島の日本軍の全滅の初め。

7. 29 日本軍、キスカ島より撤退。

10. 12 理科系、教員養成系以外の学生、生徒の徴兵猶予停止(10.21所謂学徒出陣)。

12. 1 同上該当者入営。

### 昭和19年(1944)

3. 7 学徒勤労働員を通年実施と決定。

以下に勤労働員の日数の増大を示し、労働力の逼迫の状を示す。通年実施は労働力の枯渇と学業放棄を示す。

昭和16年(1941) 2. - 年間概ね30日

〃 18年(1943) 10. 12 年間1/3

〃 19年(1944) 1. 18 年間4カ月を継続施行